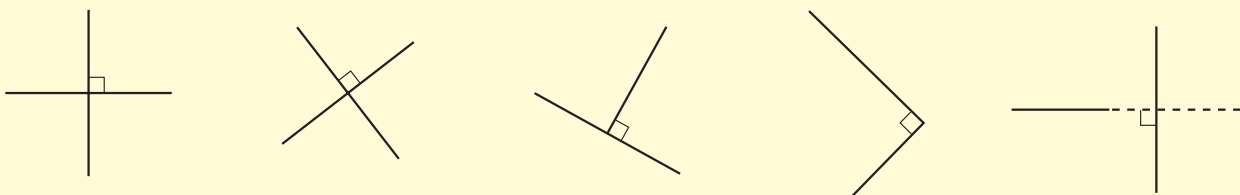




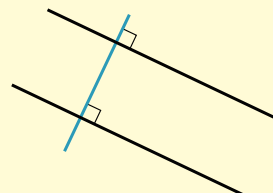
◆垂直と平行のせいしつ

にあてはまる言葉を書きましょう。

- ① 下のように、2 本の直線が交わってできる角が **直角** のとき、この 2 本の直線は、 **垂直** であるといいます。

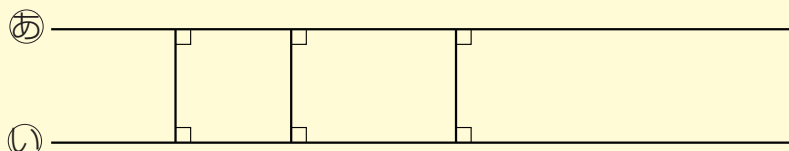


- ② 右のように、1 本の直線に **垂直** な 2 本の直線は、 **平行** であるといいます。



- ③ 平行な直線には、次のようなせいしつがあります。

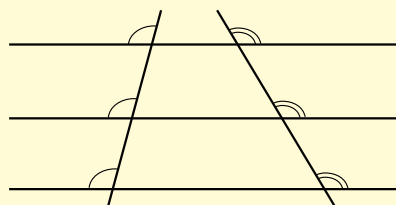
- ・ 平行な 2 本の直線のはばは、どこも **等しく** なっている。



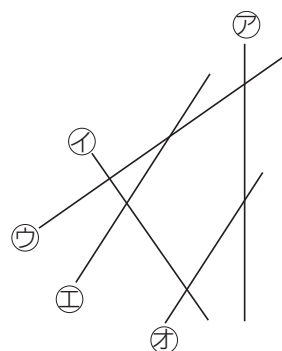
- ・ 平行な直線は、どこまでのばしても **交わらない**。

- ・ 平行な直線は、ほかの直線と

等しい 角度で交わる。



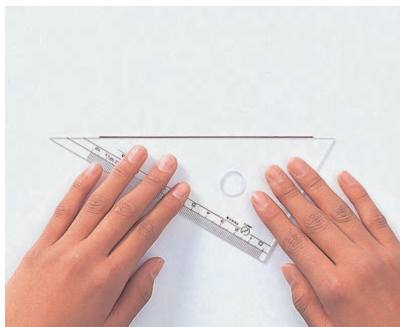
- ④ 右の図で、垂直な直線の組は、 **イとウ** です。
また、平行な直線の組は、 **エとオ** です。



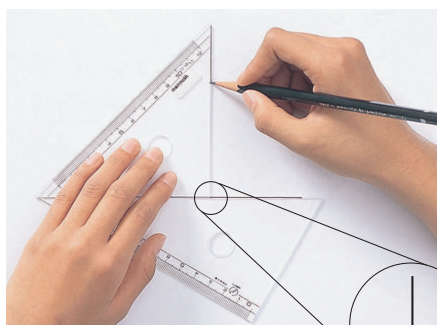
◆垂直や平行な直線のかき方

すいちよく
垂直な直線のかき方

左きき



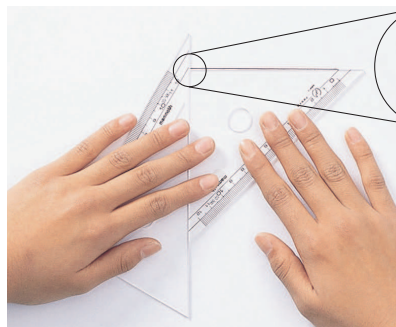
右きき



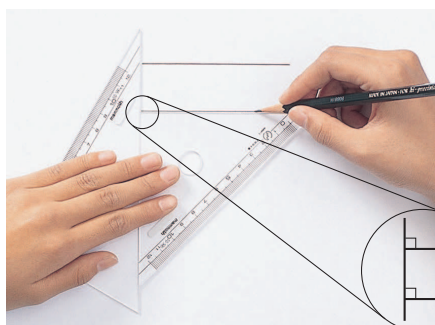
直角を作る。

へいこう
平行な直線のかき方

左きき



右きき



すいちよく
垂直な直線を
かく。

すいちよく
垂直な直線を
もう1本かく。

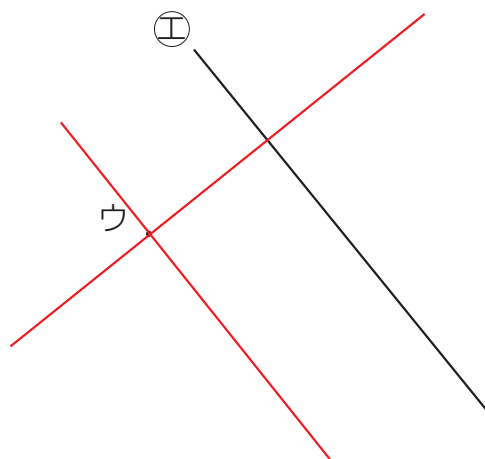
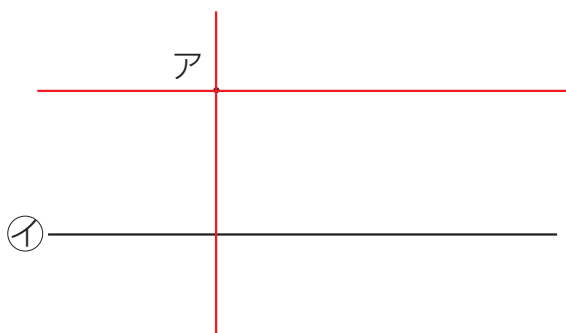
2本の直線が交わって直角ができるから、
すいちよく
垂直な直線になるね。



じょうぎ へん すいちよく
三角定規の辺に垂直な直線を2本かくから、
へいこう
2本の直線は平行になるね。



点アを通過、直線①に垂直な直線と平行な直線をかきましょう。
また、点ウを通過、直線②に垂直な直線と平行な直線をかきましょう。



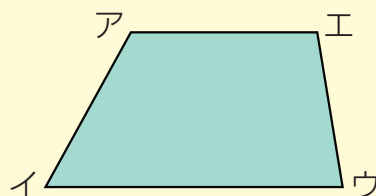


◆台形、平行四辺形、ひし形

にあてはまる言葉を書きましょう。

① 台形についてまとめましょう。

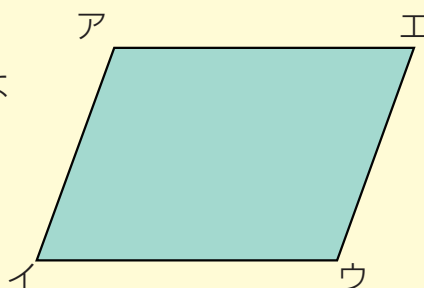
- ・ 台形は、向かい合った **1 組** の辺が平行な四角形です。



② ①の台形で、向かい合った辺が平行な組は **辺アエ** と **辺イウ** です。

③ 平行四辺形についてまとめましょう。

- ・ 平行四辺形は、向かい合った **2 組** の辺が平行な四角形です。
- ・ 向かい合った辺の長さは **等しく** なっています。
- ・ 向かい合った角の大きさは **等しく** なっています。

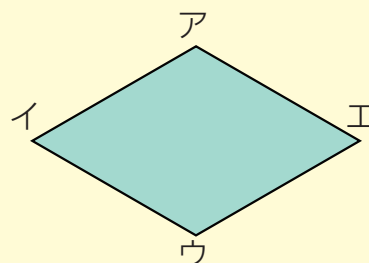


④ ③の平行四辺形の辺や角について調べましょう。

- ・ 平行な辺の組は、**辺アイ**と **辺エウ**、**辺アエ**と **辺イウ** です。
- ・ 長さが 4cm の辺は**辺イウ**と **辺アエ** で、3cm の辺は**辺エウ**と **辺アイ** です。
- ・ 角度が 70° の角は角イと **角エ** で、 110° の角は角ウと **角ア** です。

⑤ ひし形についてまとめましょう。

- ・ ひし形は、4 つの **辺の長さ** がすべて等しい四角形です。
- ・ 向かい合った辺は **平行** になっています。
- ・ 向かい合った角の大きさは **等しく** なっています。

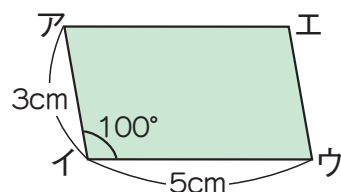


⑥ ⑤のひし形の辺や角について調べましょう。

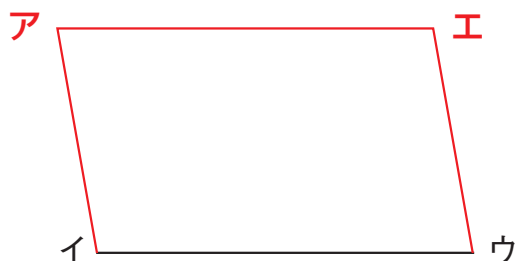
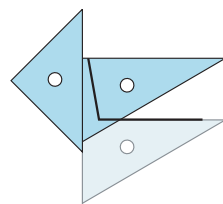
- ・ 平行な辺の組は、**辺アイ**と **辺エウ**、**辺アエ**と **辺イウ** です。
- ・ 4 つの辺の長さは、どれも **等しい** (2.5cm, 2cm5mm) です。
- ・ 角度が 60° の角は角イと **角エ** で、 120° の角は角ウと **角ア** です。

◆いろいろな四角形のかき方

右のような^{へいこう し へんけい}平行四辺形のかき方を考えましょう。

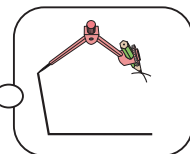


- ① 長さ 5cm の^{へん}辺 IU をかく。
- ② 角 I の^{かくど}角度が 100° で、長さが 3cm になるように、^{へん}辺 AI をかく。
- ③ ^{へん}辺 IU と ^{へん}辺 AE が^{へいこう}平行になるようにして、長さが 5cm の^{へん}辺 AE をかく。
- ④ ^{ちやうてん}頂点 E と ^{ちやうてん}頂点 U を^{むす}直線で結ぶ。

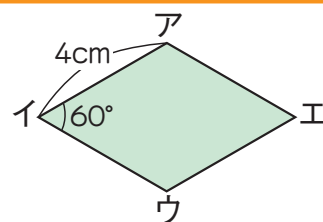


^{へん}辺 IU と ^{へん}辺 AE、^{へん}辺 AI と ^{へん}辺 EU の長さがそれぞれ^{ひと}等しいことを^{つか}使って、^{へいこう し へんけい}平行四辺形がかけよ。

^{ちやうてん}頂点 A から 5cm、^{ちやうてん}頂点 U から 3cm の^{ちやうてん}ところに^{ちやうてん}頂点 E をとればいいね。

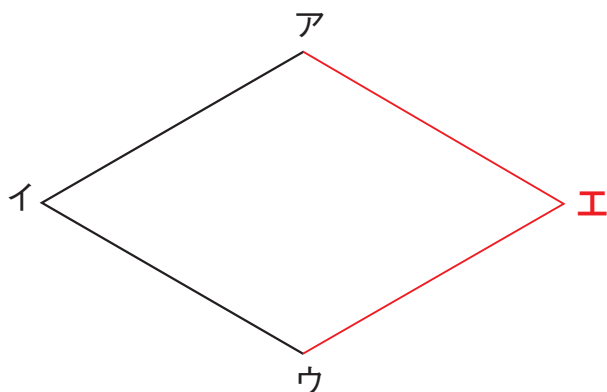


右のような^{ひし}ひし形をかこうとしています。
つづきをかきましょう。



^{へん}辺 IU に^{へいこう}平行に、^{ちやうてん}頂点 A から 4cm の^{へん}辺 AE をかくと…。

^{ちやうてん}頂点 A から ^{ちやうてん}頂点 U から 4cm の^{ちやうてん}ところにある^{ちやうてん}頂点 E を、^{つか}コンパスを使って^{ほうほう}見つける方法でもかけるね。





◆ () を使った式

500円を持って買い物に行きました。

300円のケーキと150円のジュースを買うと、お金は何円残るでしょうか。



まい

① はじめにケーキを買いました。

$$500 - 300 = 200$$

② 次にジュースを買いました。

$$200 - 150 = 50$$

③ まいさんの買い物を1つの式に表しましょう。

$$500 - 300 - 150 = 50$$



ゆうた

① ケーキとジュースの代金をあわせると…。

$$300 + 150 = 450$$

② 500 円玉ではらうと残りは…。

$$500 - 450 = 50$$

③ ゆうたさんの買い物を1つの式に表しましょう。

$$500 - (300 + 150) = 50$$

持っていたお金

代 金

残り

() のある式では、() の中をひとまとまりとみて、先に計算します。

$$500 - (300 + 150)$$

先に計算する。



◆ 練習

$$\begin{aligned} \text{① } 700 - (160 + 140) &= 700 - 300 \\ &= 400 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{② } 1600 - (270 + 330) &= 1600 - 600 \\ &= 1000 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{③ } 1000 - (900 - 170 + 70) &= 1000 - 800 \\ &= 200 \end{aligned}$$

◆ +、－、×、÷ のまじった式

計算の順序^{じゅんじょ}

- ・ ふつうは、**左** から ^{じゅん}順 に計算します。
- ・ () があるときは、() の中を **先** に計算します。
- ・ +、－、×、÷ がまじっているときは、**×**、**÷** を先に計算します。

$$\begin{aligned} \textcircled{1} \quad 80 \div 10 \times 4 &= \boxed{8} \times \boxed{4} \\ &= \boxed{32} \end{aligned}$$

ふつうは、左から^{じゅん}順に
計算するから…。



$$\begin{aligned} \textcircled{2} \quad (50 + 20) \times 3 &= \boxed{70} \times \boxed{3} \\ &= \boxed{210} \end{aligned}$$

() の中を先に
計算するから…。



$$\begin{aligned} \textcircled{3} \quad 50 + 20 \times 3 &= \boxed{50} + \boxed{60} \\ &= \boxed{110} \end{aligned}$$

() がなくても、× と ÷
は先に計算するから…。



$$\begin{aligned} \textcircled{4} \quad (100 - 40) \div 2 &= \boxed{60} \div \boxed{2} \\ &= \boxed{30} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \textcircled{5} \quad 80 + 5 \times 3 &= \boxed{80} + \boxed{15} \\ &= \boxed{95} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \textcircled{6} \quad 40 \times (50 - 10 \times 3) &= \boxed{40} \times (\boxed{50} - \boxed{30}) \\ &= \boxed{40} \times \boxed{20} \\ &= \boxed{800} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \textcircled{7} \quad 20 \times 4 + 6 \times 3 &= \boxed{80} + \boxed{18} \\ &= \boxed{98} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \textcircled{8} \quad 28 \div 7 + 9 \times 2 &= \boxed{4} + \boxed{18} \\ &= \boxed{22} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \textcircled{9} \quad 12 \times 5 - 24 \div 8 &= \boxed{60} - \boxed{3} \\ &= \boxed{57} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \textcircled{10} \quad 35 \div 5 - 25 \div 5 &= \boxed{7} - \boxed{5} \\ &= \boxed{2} \end{aligned}$$



◆計算のきまり

4まいのふうとうに90円切手と30円切手を1まいずつはりました。
切手代は、^{だい}全部で何円になるでしょうか。

$$\textcircled{1} \quad (90 + 30) \times 4 = \boxed{120} \times 4 \\ = \boxed{480} \text{ (円)}$$

$$\textcircled{2} \quad 90 \times 4 + 30 \times 4 = \boxed{360} + \boxed{120} \\ = \boxed{480} \text{ (円)}$$

③ ①と②の2つの式の答えは^{しき}等しいので、^{ひと}等号で^{とうごう}結ぶことができます。

$$(90 + 30) \times 4 = 90 \times \boxed{4} + 30 \times \boxed{4}$$



計算のきまりを^{つか}使って、くふうして^{もと}答えを求めましょう。

$$\textcircled{1} \quad 64 + 89 + 36 = (64 + \boxed{36}) + \boxed{89} \\ = \boxed{100} + 89 \\ = \boxed{189}$$

100をつくると、計算が
しやすくなるね。



$$\textcircled{2} \quad 25 \times 14 = 25 \times (\boxed{10} + \boxed{4}) \\ = 25 \times 10 + 25 \times \boxed{4} \\ = 250 + \boxed{100} \\ = \boxed{350}$$

面積 ①

(教科書 4～7 ページ)

4 年	名	
	組 前	



◆広さの表し方

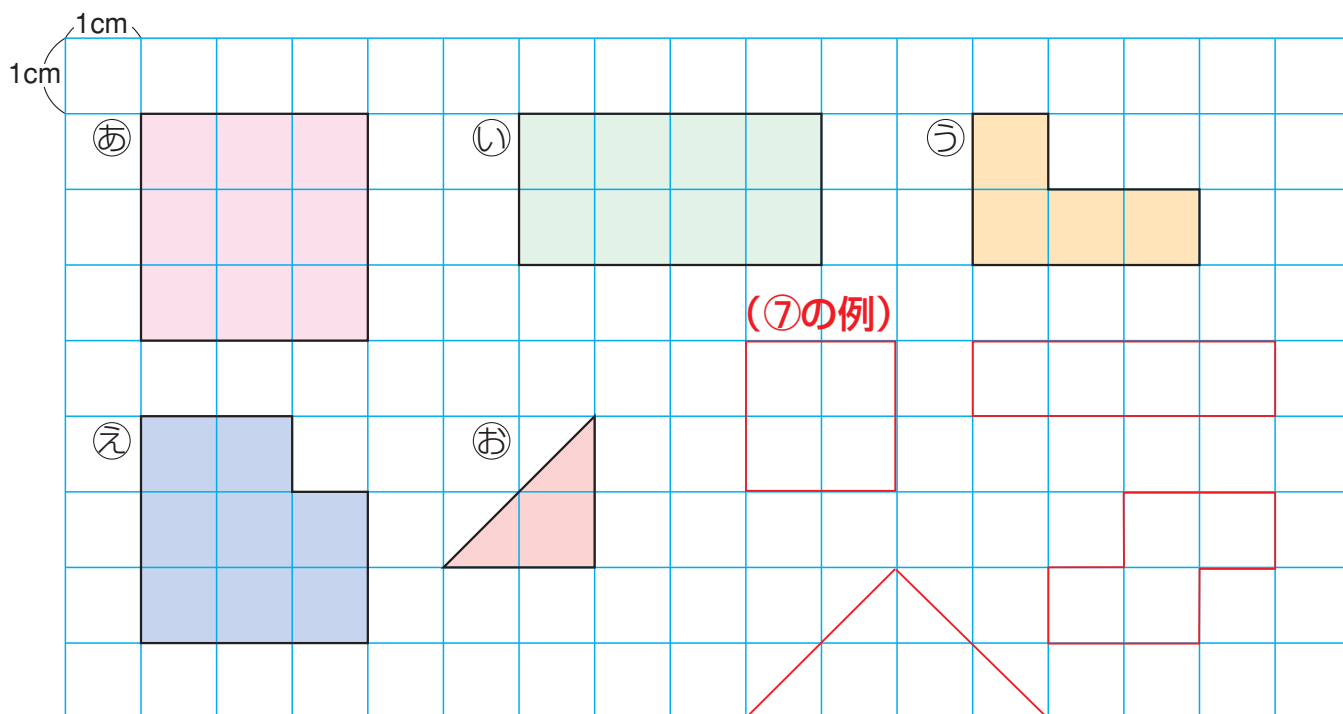
広さの表し方を調べましょう。

① 広さのことを **面積** といいます。

② 1 辺が 1cm の正方形の面積を 1 **平方センチメートル** といい、



と書きます。



③ a の面積は 1cm² の **9** こ分で、**9** cm² です。

④ i の面積は 1cm² の **8** こ分で、**8** cm² です。

⑤ a と i の面積をくらべると、**a** のほうが **1** cm² 広いです。

⑥ u、e、o の面積は、何 cm² でしょうか。

u

4cm²

e

8cm²

o

2cm²

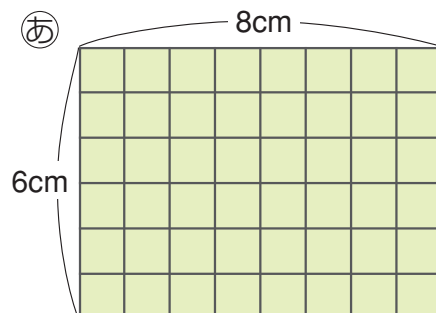
⑦ 上の方がんに、面積が 4cm² の形をいろいろかきましょう。



◆面積の公式

右のような長方形や正方形の面積の求め方を考えましょう。

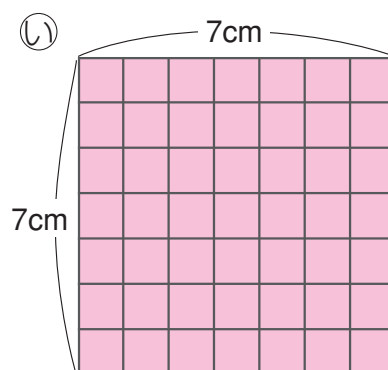
- ① 長方形㊸のたてには、 1cm^2 の正方形が **6** こ
ならびます。また、横には、**8** こならびます。



- ② 1cm^2 の正方形は、
 $6 \times \mathbf{8} = \mathbf{48}$ で、全部で **48** こあります。

- ③ 長方形㊸の面積は、 **48cm^2** です。

- ④ 正方形㊹には、 1cm^2 の正方形が
 $7 \times \mathbf{7} = \mathbf{49}$ で、全部で **49** こあります。



- ⑤ 正方形㊹の面積は、 **49cm^2** です。

- ⑥ 長方形や正方形の面積は、たてと横の長さを表す数を使って、
その数をかけて求めることができます。

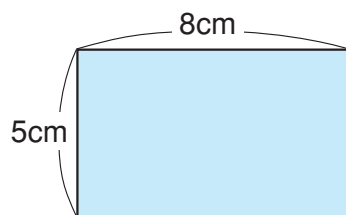
長方形や正方形の面積を求める公式は、次のようになります。

$$\text{長方形の面積} = \text{たて} \times \text{横}$$

$$\text{正方形の面積} = \text{1 辺} \times \text{1 辺}$$

◆練習

- ① 下のような長方形や正方形の面積を求めましょう。

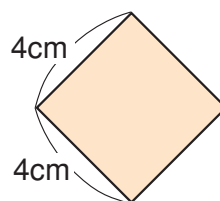


しき

$$5 \times 8 = 40$$

答え

$$40\text{cm}^2$$



しき

$$4 \times 4 = 16$$

答え

$$16\text{cm}^2$$

◆大きな面積の単位「 m^2 」

- ① 教室などの広いところの面積を表すには、1 辺が 1m の正方形を単位にします。

1 辺が 1m の正方形の面積を 1 **平方メートル** といい、



と書きます。

- ② $1m^2$ の正方形のたてには、 $1cm^2$ の正方形が

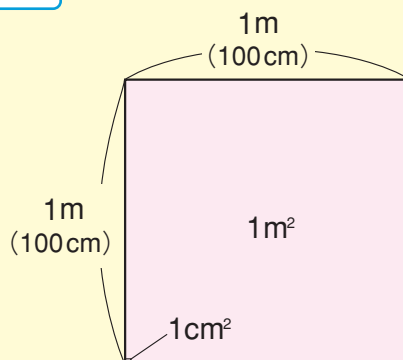
100

こならびます。また、横にも

100

こ

ならびます。



- ③ $1m^2$ の正方形には、 $1cm^2$ の正方形が、

100

×

100

=

10000

で、全部で

10000

こならびます。

$1m^2 =$ **10000** cm^2

◆大きな面積の単位「 km^2 」

- ① 都道府県や市町村のように、教室などよりもっと広いところの面積を表すには、1 辺が 1km の正方形を単位にします。

1 辺が 1km の正方形の面積を 1 **平方キロメートル** といい、



と書きます。

- ② $1km =$ **1000** m だから、 $1km^2$ の正方形には、 $1m^2$ の正方形が

1000

×

1000

=

1000000

で、全部で

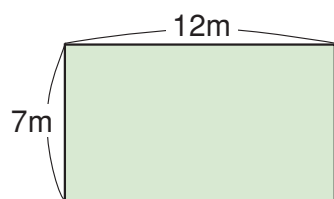
1000000

こならびます。

$1km^2 =$ **1000000** m^2

◆練習

- ① 下のような長方形の面積を求めましょう。

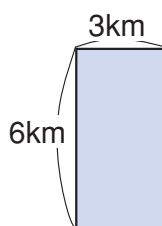


しき式

$$7 \times 12 = 84$$

答え

$$84m^2$$



しき式

$$6 \times 3 = 18$$

答え

$$18km^2$$

面積 ④

(教科書 14 ～ 15 ページ)

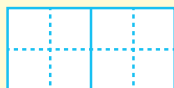
4 年	名	
	組 前	



たてが 50m、横が 70m の長方形の面積を求めましょう。

① 求める長方形の面積は、 $50 \times 70 = 3500$ (m²) です。

② 1 辺が 10 m の正方形の面積を 1 アールといい、



と書きます。1 a = 100 m² です。

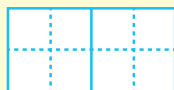
③ ①で求めた面積は、35 a になります。



たてが 400m、横が 200m の長方形の面積を求めましょう。

① 求める長方形の面積は、 $400 \times 200 = 80000$ (m²) です。

② 1 辺が 100 m の正方形の面積を 1 ヘクタールといい、



と書きます。1 ha = 10000 m² です。

③ ①で求めた面積は、8 ha になります。



1 m²、1 km²、1 a、1 ha を下の表のあてはまるところに書きましょう。

正方形の 1 辺の長さ	1 m	10 m	100 m	1 km
正方形の面積	1 m ²	1 a	1 ha	1 km ²



あるクラスで1か月間に起きたけがについて調べました。けがの種類やけがをした場所がわかりやすくなるように、表に整理しましょう。

- ① どんなけがをした人が何人いるか、表に整理しましょう。

けがの種類

けがの種類	人数 (人)
すりきず	6
打ぼく	4
切りきず	3
つき指	2
ねんざ	1
合計	16

- ② どんな場所でけがをした人が何人いるか、表に整理しましょう。

けがをした場所

場所	人数 (人)
体育館	5
教室	3
校庭	7
ろう下	1
合計	16

けが調べ

けがの種類	場所
すりきず	体育館
すりきず	教室
打ぼく	校庭
切りきず	校庭
すりきず	教室
打ぼく	校庭
つき指	ろう下
切りきず	体育館
ねんざ	校庭
切りきず	体育館
すりきず	校庭
つき指	校庭
すりきず	教室
打ぼく	体育館
すりきず	体育館
打ぼく	校庭

- ③ どこでどんなけがをした人が何人いるか、ひと目でわかる表を作りましょう。

けがの種類と場所 (人)

場所 けがの種類	体育館	教室	校庭	ろう下	合計
すりきず	2	3	1	0	6
打ぼく	1	0	3	0	4
切りきず	2	0	1	0	3
つき指	0	0	1	1	2
ねんざ	0	0	1	0	1
合計	5	3	7	1	16



あるクラスで、本を借りた人数について調べました。先週と今週の、本を借りた人数がわかりやすくなるように、表に整理しましょう。

- ① 先週、本を借りた人数と借りなかった人数について、表に整理しましょう。

本のかし出し調べ (先週)

借りた人数 (人)	15
借りなかった人数 (人)	15

- ② 今週、本を借りた人数と借りなかった人数について、表に整理しましょう。

本のかし出し調べ (今週)

借りた人数 (人)	17
借りなかった人数 (人)	13

- ③ 先週と今週の本を借りた人数と借りなかった人数がひと目でわかる表を作しましょう。

本のかし出し調べ

		先 週		合計
		借りた	借りなかった	
今 週	借りた	㉞ 8	㉟ 9	17
	借りなかった	㊱ 7	㊲ 6	13
合計		15	15	30

- ㉞ 先週も今週も借りた人
 ㉟ 先週は借りなかったけれど、今週は借りた人
 ㊱ 先週は借りたけれど、今週は借りなかった人
 ㊲ 先週も今週も借りなかった人

本のかし出し調べ

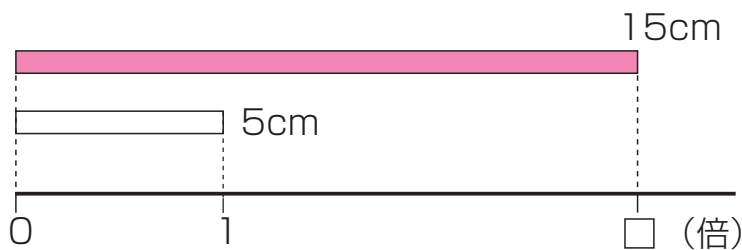
番号	先週	今週
1	○	×
2	×	×
3	×	○
4	○	○
5	×	○
6	○	○
7	○	×
8	×	×
9	×	○
10	○	×
11	×	○
12	○	○
13	○	×
14	×	○
15	×	×
16	×	○
17	○	○
18	○	○
19	×	○
20	×	×
21	○	○
22	×	○
23	○	×
24	○	×
25	×	×
26	○	○
27	×	○
28	×	×
29	○	○
30	○	×

○…借りた。
 ×…借りなかった。



◆倍の計算

赤いリボンの長さは 15cm です。白いリボンの長さは 5cm です。
赤いリボンの長さは、白いリボンの長さの何倍ばいでしょうか。



5cmの□倍が
15cmだから、
 $5 \times \square = 15$

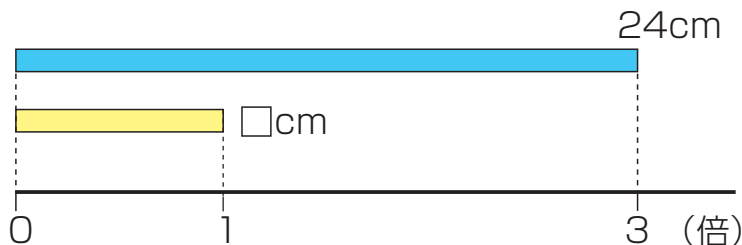


しき式 $15 \div 5 = 3$

答え **3 倍**



青いリボンの長さは 24cm です。この長さは、黄色いリボンの長さの 3 倍ばいだそうです。黄色いリボンの長さは何 cm でしょうか。



- ① 黄色いリボンの長さを □ cm として、
かけ算しきの式あらわに表しましょう。

しき式 $\square \times 3 = 24$

黄色いリボンの長さの
3 倍ばいが、青いリボンの
長さだから…。



- ② リボンの長さを求めもとましょう。

$$\begin{aligned} \square \times 3 &= 24 \\ &= 24 \div 3 \\ &= 8 \end{aligned}$$

黄色いリボンの長さは、
青いリボンの長さを
3 等分とうぶんした長さだから…。



答え **8cm**



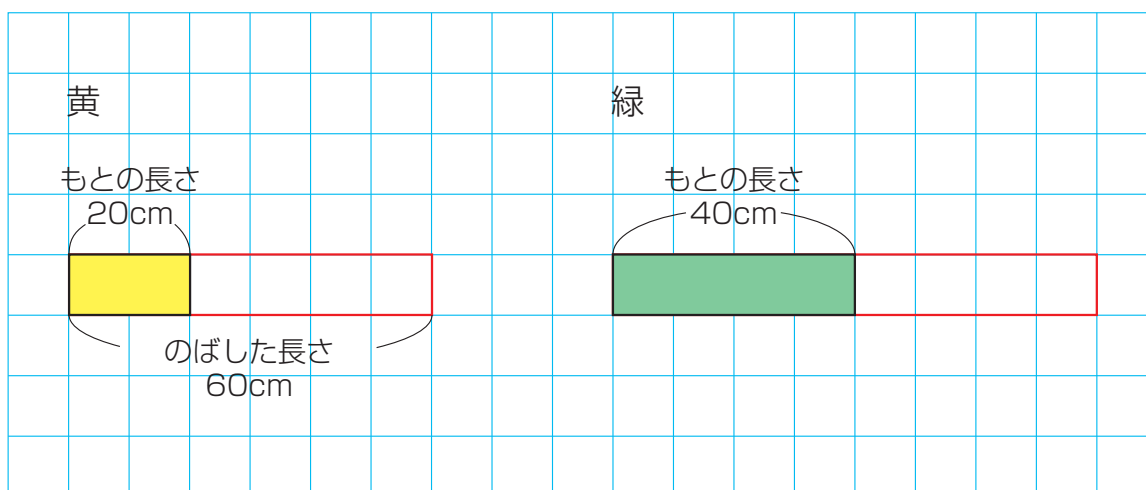
◆割合

黄と緑のゴムひもをいっぱいまでのばした長さは、
下の表のとおりです。

どちらのほうがよくのびるといえるでしょうか。

	もとの長さ (cm)	のばした長さ (cm)
黄	20	60
緑	40	80

- ① 黄と緑のゴムひもの「もとの長さ」と「のばした長さ」の関係を、
それぞれ図に表しましょう。



- ② のばした長さは、もとの長さの何倍になっているでしょう。

〈黄〉 $60 \div 20 = 3$ (倍)

〈緑〉 $80 \div 40 = 2$ (倍)

- ③ もとにする量を **1** とみたとき、もう一方の量がどれだけにあたるかを
表した数を、**割合**といいます。

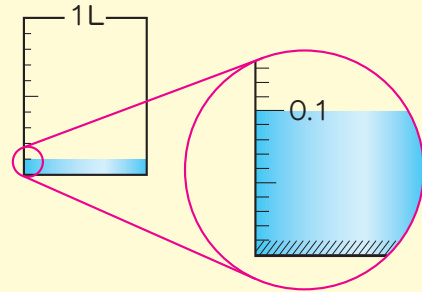
- ④ 割合でくらべると、**黄** のゴムひものほうがよくのびるといえます。



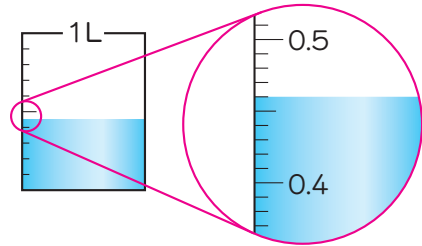
◆ 0.1 より小さい小数

にあてはまる数を書きましょう。

- ① 1L の $\frac{1}{10}$ は、 . L です。
 0.1L の $\frac{1}{10}$ は、 . L です。

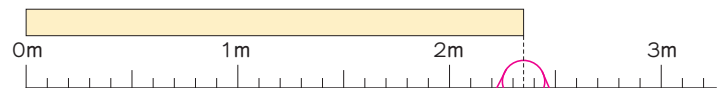


- ② 右の水のかさは、0.1L が こと、
 0.01L が こで、
 あわせて L です。

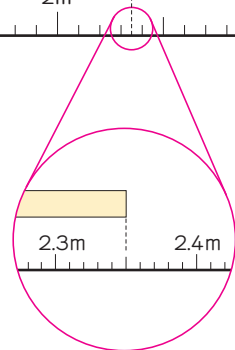


- ③ 1m の $\frac{1}{10}$ (10cm) は、 . m
 0.1m の $\frac{1}{10}$ (1cm) は、 . m
 ④ 1kg の $\frac{1}{10}$ (100g) は、 . kg
 0.1kg の $\frac{1}{10}$ (10g) は、 . kg
 0.01kg の $\frac{1}{10}$ (1g) は、 . kg

- ⑤ 右のテープの長さ^{あらわ}を表しましょう。



- 1m が こで、 m
 0.1m が こで、 . m
 0.01m が こで、 . m
 あわせて m



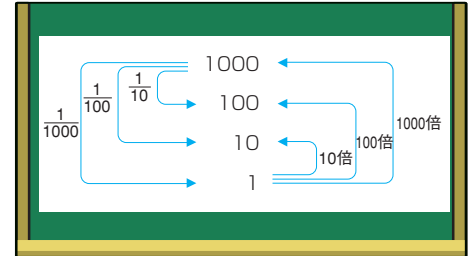
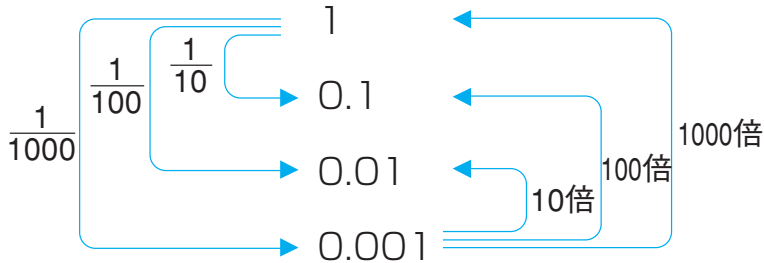
- ⑥ 1m83cm を m 単位^{たん い}で表すと、 m です。

- ⑦ 538g を kg 単位^{たん い}で表すと、 kg です。



◆小数のしくみ

にあてはまる数を書きましょう。



せいすう
整数のしくみと
同じだね。



① 1 は 0.1 の こ分で、0.01 の こ分です。

② 0.1 の $\frac{1}{100}$ の数は です。

③ 0.01 の 100 倍の数は です。



小数のしくみを調べましょう。

① 右の に、あてはまる位の^{くらい}名前を書きましょう。

② 27.475 は、10、1、0.1、0.01、0.001 をそれぞれいくつあつめた数でしょうか。

10 が こ
1 が こ
0.1 が こ
0.01 が こ
0.001 が こ

2	7	.	4	7	5
十の位	一の位	小数点	$\frac{1}{10}$ の位 (小数第一位)	$\frac{1}{100}$ の位 (小数第二位)	$\frac{1}{1000}$ の位 (小数第三位)



それぞれの位の数字を
ならべると、27.475
になるね。

③ 1.69 は 0.01 を こあつめた数です。



◆小数の大きさ

つぎの 3 つの数の大きさをくらべて、小さい順にならべましょう。

0.65 0.56 0.605

0.01 を何こあつめた数かな。

0.65 は 0.01 が **65** こ

0.56 は 0.01 が **56** こ

0.605 は約 0.6 とみると

0.01 が **60** こ

せいすう 整数と同じように、上の位の数字からくらべていくと…。

0.56 < **0.605** < **0.65**

3 つ以上の数の大きさをくらべて不等号で表すときは、不等号の向きをそろえるようにするよ。

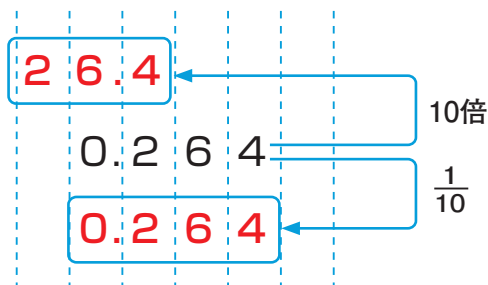
◆練習

① 数の大小をくらべて、 に不等号をかきましょう。

4.625 **>** 4.562

0.201 **<** 0.81

2.64 の 10 倍の数と、 $\frac{1}{10}$ の数を調べましょう。



小数も整数と同じように、10 倍すると位が 1 けた上がって、 $\frac{1}{10}$ にすると位が 1 けた下がるね。

◆練習

① 3.87 の 10 倍の数は **38.7**、 $\frac{1}{10}$ の数は **0.387** です。



◆小数のたし算

1.3 + 2.46 の計算のしかたを考えましょう。

0.01 をもとにして考えると…

1.3 → 0.01 が **130** こ

2.46 → 0.01 が **246** こ

あわせて 0.01 が **376** こ

位ごとに考えると…

1.3 → 1 と 0.3

2.46 → **2** と **0.4** と **0.06**

あわせて **3** と **0.7** と **0.06**

1.3 + 2.46 の筆算のしかた

$$\begin{array}{r} 1.3 \\ + 2.46 \\ \hline \end{array}$$



$$\begin{array}{r} 1.3 \\ + 2.46 \\ \hline 3.76 \end{array}$$



$$\begin{array}{r} 1.3 \\ + 2.46 \\ \hline 3.76 \end{array}$$

上のように、**位**をそろえて書く。

整数のたし算と同じように計算する。

上の小数点にそろえて答えの**小数点**をうつ。

◆練習

① 4.06 + 2.87

$$\begin{array}{r} 4.06 \\ + 2.87 \\ \hline 6.93 \end{array}$$

② 1.5 + 2.73

$$\begin{array}{r} 1.5 \\ + 2.73 \\ \hline 4.23 \end{array}$$

③ 3.279 + 5.421

$$\begin{array}{r} 3.279 \\ + 5.421 \\ \hline 8.700 \end{array}$$

④ 2.96 + 0.84

$$\begin{array}{r} 2.96 \\ + 0.84 \\ \hline 3.80 \end{array}$$

⑤ 3.42 + 8

$$\begin{array}{r} 3.42 \\ + 8 \\ \hline 11.42 \end{array}$$

位をそろえて書くよ。





◆小数のひき算

4.5 - 0.32 の計算のしかたを考えましょう。

0.01 をもとにして考えると…

4.5 → 0.01 が **450** こ

0.32 → 0.01 が **32** こ

のこ残りは 0.01 が **418** こ

位ごとに考えると…

4.59 → 4 と 0.5 と 0.09

1.32 → **1** と **0.3** と **0.02**

のこ残りは **3** と **0.2** と **0.07**

4.5 - 0.32 の筆算のしかた

$$\begin{array}{r} 4.5 \\ - 0.32 \\ \hline \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 4.5 \\ - 0.32 \\ \hline 4.18 \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 4.5 \\ - 0.32 \\ \hline 4.18 \end{array}$$

上のように、**位** をそろえて書く。

整数のひき算と同じように計算する。

上の小数点にそろえて答えの**小数点**をうつ。

◆練習

① 6.94 - 2.84

$$\begin{array}{r} 6.94 \\ - 2.84 \\ \hline 4.10 \end{array}$$

② 3.46 - 2.5

$$\begin{array}{r} 3.46 \\ - 2.5 \\ \hline 0.96 \end{array}$$

③ 7.6 - 2.83

$$\begin{array}{r} 7.6 \\ - 2.83 \\ \hline 4.77 \end{array}$$

④ 2.54 - 0.796

$$\begin{array}{r} 2.54 \\ - 0.796 \\ \hline 1.744 \end{array}$$

⑤ 8 - 1.95

$$\begin{array}{r} 8 \\ - 1.95 \\ \hline 6.05 \end{array}$$

8 を 8.00 とみると…。



位をそろえて書くよ。





長さが 20cm のひもを使って、長方形を作ります。
できる長方形の、横の長さ^{よこ}とたての長さ^{たて}の関係を調べましょう。

- ① 横の長さ^{よこ}とたての長さ^{たて}を、下の表に整理しましょう。

横の長さ (cm)	1	2	3	4	5	6	7	8	9
たての長さ (cm)	9	8	7	6	5	4	3	2	1

横が 1cm のときはたてが 9 cm
横が 2cm のときはたてが 8 cm
横が 3cm のときはたてが 7 cm
横が 4cm のときは…。



- ② 横の長さ^{よこ}が 1cm、2cm、……とふえると、たての長さ^{たて}はどのように変わってしょうか。

横の長さ (cm)	1	2	3	4	5	6	7	8	9
たての長さ (cm)	9	8	7	6	5	4	3	2	1

1ふえる 1ふえる 1ふえる 1ふえる

1へる 1へる 1へる 1へる

- ③ 横の長さ^{よこ}とたての長さ^{たて}をたした数は、どのようになっているでしょうか。

横の長さ (cm)	1	2	3	4	5
たての長さ (cm)	9	8	7	6	5

$$1 + 9 = 10$$

$$2 + 8 = 10$$

$$3 + 7 = 10$$

⋮

- ④ 横の長さ^{よこ}とたての長さ^{たて}の関係を式に表します。

にあてはまる数を書きましょう。

$$\text{横の長さ} + \text{たての長さ} = 10$$

- ⑤ 横の長さ^{よこ}を○cm、たての長さ^{たて}を△cmとすると、④の式は $\text{○} + \text{△} = 10$ と表すことができます。



下の表は、長さ 20cm のひもを使ってできる長方形の、横の長さとたての長さの関係を表しています。
この関係をグラフに表しましょう。

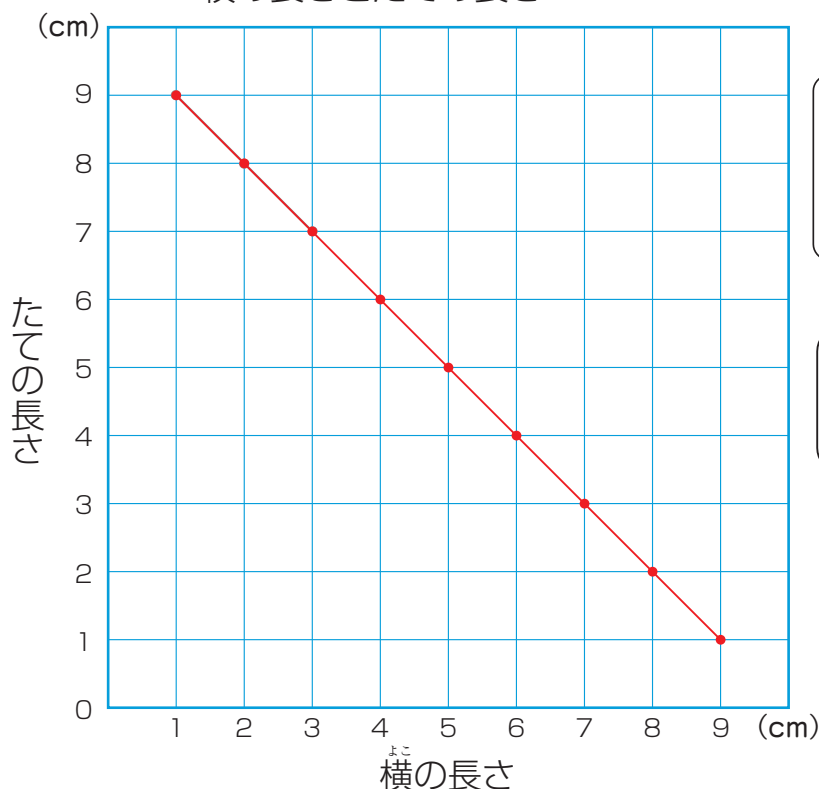
横の長さ (cm)	1	2	3	4	5	6	7	8	9
たての長さ (cm)	9	8	7	6	5	4	3	2	1

- ① 横の長さを 1cm から 9cm まで変えたときの、横の長さとたての長さの関係をグラフに表しましょう。

グラフの横のじくは **横** の長さ、
たてのじくは **たて** の長さを
表しているね。



まわりの長さが 20cm の長方形の
横の長さとたての長さ



点を結んでみると、
グラフは **直線** になるね。



横の長さが 1 ふえると、
たての長さは **1** へるね。

